

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4061 URL http://www.denka.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)今井 俊夫
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートコミュニケーション部長 (氏名)福岡 智 (TEL)03(5290)5511
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	354,391	△6.9	34,729	9.9	32,143	7.0	22,785	0.4
2020年3月期	380,803	△7.8	31,587	△7.7	30,034	△8.5	22,703	△9.4
(注) 包括利益	2021年3月期 26,855百万円(66.1%)		2020年3月期 16,164百万円(△17.3%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	264.24	—	8.8	6.3	9.8
2020年3月期	262.62	—	9.1	6.1	8.3
(参考) 持分法投資損益	2021年3月期 933百万円		2020年3月期 1,170百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	526,035	270,036	50.8	3,101.92
2020年3月期	501,448	254,014	50.0	2,906.95
(参考) 自己資本	2021年3月期 267,448百万円		2020年3月期 250,720百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	40,610	△36,976	△6,706	25,909
2020年3月期	41,954	△36,303	9,544	29,170

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	60.00	—	65.00	125.00	10,785	47.6	4.4
2021年3月期	—	60.00	—	65.00	125.00	10,785	47.3	4.2
2022年3月期(予想)	—	65.00	—	70.00	135.00		40.1	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	175,000	9.2	19,000	57.5	17,000	38.3	13,000	29.9	150.78
通期	365,000	3.0	42,000	20.9	39,000	21.3	29,000	27.3	336.35

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 ー 社（社名） 、除外 ー 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	88,555,840株	2020年3月期	88,555,840株
② 期末自己株式数	2021年3月期	2,335,451株	2020年3月期	2,307,067株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	86,230,344株	2020年3月期	86,448,676株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	252,492	10.6	28,254	76.4	26,923	36.3	53,002	235.0
2020年3月期	228,249	△6.4	16,020	△16.8	19,753	△17.4	15,821	△17.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	614.66	—
2020年3月期	183.01	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	451,002	222,610	49.4	2,581.88
2020年3月期	391,666	175,376	44.8	2,033.37

(参考) 自己資本 2021年3月期 222,610百万円 2020年3月期 175,376百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 補足情報	17
2020年度 決算概要	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当期のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動全般が大きく制限され、個人消費や輸出を中心に大きく落込み、景気は厳しい状況となりました。また、世界経済も、中国など一部を除いて感染症の拡大が続き、欧米を中心に景気が悪化しました。

化学工業界におきましては、期前半には感染症の拡大による需要の減少がありましたが、その後自動車や半導体向けを中心に回復し、全体として企業収益は底堅く推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループは、企業理念“The Denka Value”を実現すべく、3つの成長ビジョン「スペシャリティーの融合体」「持続的成長」「健全な成長」を掲げ、2018年度より5か年の経営計画「Denka Value-Up」における2つの成長戦略「事業ポートフォリオの変革」と「革新的プロセスの導入」を推進し、業容の拡大と収益性向上に注力いたしました。この結果、当期の業績は、電子・先端プロダクツ製品の伸長やヘルスケア分野での新製品の寄与がありましたが、全体的には世界的な景気後退による需要減のため販売数量が減少しました。また、一部の製品では原材料価格の下落に応じた販売価格の見直しがあり、売上高は3,543億91百万円と前年同期に比べ264億12百万円(6.9%)の減収となりました。利益面では、成長分野向けの高付加価値製品の伸長や固定費の削減などにより、営業利益は347億29百万円(前年同期比31億42百万円増、9.9%増益)と過去最高を更新し、売上高営業利益率は9.8%(1.5ポイント増)となりました。また、経常利益は321億43百万円(前年同期比21億8百万円増、7.0%増益)、親会社株主に帰属する当期純利益は227億85百万円(前年同期比81百万円増、0.4%増益)となり、それぞれ前年同期を上回りました。

<エラストマー・機能樹脂部門>

クロロプレンゴムの販売は、足もとでは回復傾向に転じてきましたが、感染症拡大などによる世界経済低迷の影響を大きく受け、全般的に生産活動が停滞したことから前年を下回りました。また、スチレンモノマーやABS樹脂、デンカシンガポール社のポリスチレン樹脂およびMS樹脂の販売は概ね堅調に推移しましたが、原材料価格の下落に応じた販売価格の見直しを行ったことから減収となりました。

この結果、当部門の売上高は1,243億1百万円と前年同期に比べ250億23百万円(16.8%)の減収となりました。

<インフラ・ソーシャルソリューション部門>

農業・土木用途向けのコルゲート管の販売は堅調に推移しましたが、セメントや特殊混和材、肥料、耐火物・鉄鋼用材料の販売は、感染症に加え天候不順の影響も受けたことなどから前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は505億47百万円と前年同期に比べ42億54百万円(7.8%)の減収となりました。

<電子・先端プロダクツ部門>

球状アルミナや高純度導電性カーボンブラックはxEV関連を中心に販売が伸長しました。また、電子部品・半導体関連分野向け高機能フィルムや球状溶融シリカフィルターは5G関連やデータセンターの世界的な需要の拡大により好調に推移し、自動車産業用向けの金属アルミ基板ヒットプレートの販売も増加しました。このほか、LED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”の販売はパソコン向けなどで順調に推移しましたが、高信頼性放熱プレート“アルシンク”や高熱伝導性セラミックス基板“ANプレート”は電鉄需要の落ち込みの影響を受け前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は711億95百万円と前年同期に比べ31億66百万円(4.7%)の増収となりました。

<生活・環境プロダクツ部門>

食品包材用シートおよびその加工品の販売は、テイクアウト需要の増加により概ね堅調に推移しました。一方、プラスチック雨どいおよび合繊かつら用原糸“トヨカロン”、工業用テープの販売は感染症拡大の影響を受け前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は334億41百万円と前年同期に比べ35億32百万円(9.6%)の減収となりました。

＜ライフイノベーション部門＞

インフルエンザワクチンの出荷は、新型コロナウイルス感染症流行による予防意識の高まりから接種率が向上し、前年を上回り増収となりました。試薬は、昨年8月に販売を開始した新型コロナウイルスの抗原迅速診断キット“クイックナビ™ -COVID19 Ag”は順調な生産、販売となりましたが、インフルエンザ診断キットなど従来の検査試薬の販売は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で受診者数が減少したことなどから前年を下回りました。また、新型コロナウイルスにも効果が期待されている抗インフルエンザウイルス薬「アビガン®錠」の原料であるマロン酸ジエチルの出荷を行いました。

この結果、当部門の売上高は429億47百万円と前年同期に比べ74億36百万円（20.9%）の増収となりました。

＜その他部門＞

YKアクロス株式会社等の商社は取扱高が減少し、デンカエンジニアリング株式会社の完成工事高も前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は319億58百万円と、前年同期に比べ42億4百万円（11.6%）の減収となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ245億86百万円増加の5,260億35百万円となりました。

流動資産は、売上債権の増加などにより前連結会計年度末に比べ22億73百万円増加の2,007億26百万円となりました。固定資産は有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ223億13百万円増加の3,253億9百万円となりました。

負債は、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べ85億64百万円増加の2,559億98百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ160億22百万円増加の2,700億36百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の50.0%から50.8%となり、1株当たり純資産は2,906円95銭から3,101円92銭となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、259億9百万円となり、前連結会計年度末と比べ32億61百万円の減少となりました。なお、当連結結果期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加などにより、前年比13億43百万円収入減の406億10百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資の支払いの増加などにより、前年比6億72百万円支出増の369億76百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、株主還元による支払などにより、67億6百万円の支出となりました。

（参考）キャッシュ・フロー指標のトレンド

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	49.1	50.5	51.0	50.0	50.8
時価ベースの自己資本比率(%)	56.2	65.9	57.3	39.2	72.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.9	2.2	3.4	3.2	3.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	48.2	77.1	42.6	49.3	49.8

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1)いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2)株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3)有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注4)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を適用しており、2018年3月期に係るキャッシュ・フロー指標については、当該会計基準を遡って適用した後の指標となっております。

(4) 今後の見通し

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの徐々に正常化し、前年にその影響を大きく受けたクロロプレノゴムをはじめとする基盤事業の需要回復や、xEV・半導体・5G通信・再生可能エネルギーなどの環境・エネルギー分野の更なる需要伸長を想定しております。

こうした状況のもと、営業利益は前年度の347億円を大きく上回る420億円と、2期連続の過去最高益更新を見込みます。また、経常利益390億円、親会社株主に帰属する当期純利益290億円の予想とし、いずれも過去最高益更新を見込みます。

[通期連結業績予想]

・売上高	3,650億円 (前年比 3.0%増)
・営業利益	420億円 (前年比 20.9%増)
・経常利益	390億円 (前年比 21.3%増)
・親会社株主に帰属する当期純利益	290億円 (前年比 27.3%増)
・配当金	年135.00円/株

[通期連結業績予想の前提条件]

- ・国産ナフサ価格 46,000円/k1
- ・為替レート 108円/US\$

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、当社グループは、将来における国際会計基準の適用に備え、国際会計基準の知識の習得、日本基準とのギャップ分析、導入における影響度調査等の取組みを実施しており、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,172	25,910
受取手形及び売掛金	85,637	92,816
商品及び製品	52,159	46,718
仕掛品	4,037	4,617
原材料及び貯蔵品	19,582	20,379
その他	8,156	10,479
貸倒引当金	△293	△195
流動資産合計	198,452	200,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	62,503	74,796
機械装置及び運搬具（純額）	69,789	72,823
工具、器具及び備品（純額）	4,146	4,510
土地	63,370	63,562
リース資産（純額）	2,260	1,929
建設仮勘定	29,745	30,211
有形固定資産合計	231,815	247,834
無形固定資産		
のれん	7,544	7,203
特許権	523	449
ソフトウェア	1,002	1,166
その他	2,737	2,573
無形固定資産合計	11,808	11,392
投資その他の資産		
投資有価証券	51,200	59,569
長期貸付金	178	158
繰延税金資産	3,160	2,146
その他	4,949	4,325
貸倒引当金	△117	△118
投資その他の資産合計	59,371	66,081
固定資産合計	302,995	325,309
資産合計	501,448	526,035

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,005	40,188
短期借入金	51,929	41,867
コマーシャルペーパー	9,000	8,000
1年内返済予定の長期借入金	10,010	10,003
未払法人税等	3,550	5,431
未払消費税等	1,431	453
賞与引当金	2,992	2,718
その他	38,888	46,398
流動負債合計	160,807	155,062
固定負債		
社債	37,000	37,000
長期借入金	26,400	41,319
繰延税金負債	3,245	5,161
再評価に係る繰延税金負債	8,403	8,397
退職給付に係る負債	7,874	5,892
株式給付引当金	58	80
その他	3,644	3,084
固定負債合計	86,626	100,935
負債合計	247,434	255,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,365	49,397
利益剰余金	156,857	168,878
自己株式	△7,593	△7,677
株主資本合計	235,628	247,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,691	16,143
繰延ヘッジ損益	△551	△442
土地再評価差額金	10,259	10,245
為替換算調整勘定	△876	△3,004
退職給付に係る調整累計額	△4,429	△3,090
その他の包括利益累計額合計	15,092	19,852
非支配株主持分	3,294	2,588
純資産合計	254,014	270,036
負債純資産合計	501,448	526,035

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	380,803	354,391
売上原価	281,465	254,196
売上総利益	99,338	100,194
販売費及び一般管理費	67,750	65,464
営業利益	31,587	34,729
営業外収益		
受取利息	124	95
受取配当金	1,427	1,309
持分法による投資利益	1,170	933
受取保険金	400	113
為替差益	-	442
その他	421	759
営業外収益合計	3,545	3,653
営業外費用		
支払利息	866	821
固定資産処分損	1,508	2,455
操業休止等経費	587	1,243
為替差損	693	-
その他	1,442	1,719
営業外費用合計	5,098	6,239
経常利益	30,034	32,143
特別利益		
投資有価証券売却益	280	158
特別利益合計	280	158
特別損失		
災害による損失	249	-
事業整理損	940	-
合併関連費用	113	252
訴訟関連損失	-	2,997
特別損失合計	1,303	3,250
税金等調整前当期純利益	29,011	29,052
法人税、住民税及び事業税	6,344	7,122
法人税等調整額	131	△129
法人税等合計	6,475	6,993
当期純利益	22,535	22,059
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△167	△725
親会社株主に帰属する当期純利益	22,703	22,785

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	22,535	22,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,679	5,814
為替換算調整勘定	△780	△2,170
退職給付に係る調整額	△815	1,339
持分法適用会社に対する持分相当額	△95	△187
その他の包括利益合計	△6,371	4,796
包括利益	16,164	26,855
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	16,433	27,559
非支配株主に係る包括利益	△269	△703

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	36,998	49,353	144,638	△5,492	225,498
会計方針の変更による累積的影響額			△306		△306
会計方針の変更を反映した当期首残高	36,998	49,353	144,332	△5,492	225,192
当期変動額					
剰余金の配当			△10,396		△10,396
親会社株主に帰属する当期純利益			22,703		22,703
連結範囲の変動			217		217
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		11			11
自己株式の取得				△2,108	△2,108
自己株式の処分		△0		7	7
土地再評価差額金の取崩			0		0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	11	12,525	△2,101	10,435
当期末残高	36,998	49,365	156,857	△7,593	235,628

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	15,182	△345	10,260	△120	△3,614	21,362	3,620	250,481
会計方針の変更による累積的影響額						—		△306
会計方針の変更を反映した当期首残高	15,182	△345	10,260	△120	△3,614	21,362	3,620	250,175
当期変動額								
剰余金の配当						—		△10,396
親会社株主に帰属する当期純利益						—		22,703
連結範囲の変動						—		217
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						—		11
自己株式の取得						—		△2,108
自己株式の処分						—		7
土地再評価差額金の取崩						—		0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,491	△206	△0	△755	△815	△6,270	△326	△6,596
当期変動額合計	△4,491	△206	△0	△755	△815	△6,270	△326	3,839
当期末残高	10,691	△551	10,259	△876	△4,429	15,092	3,294	254,014

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	36,998	49,365	156,857	△7,593	235,628
当期変動額					
剰余金の配当			△10,785		△10,785
親会社株主に帰属する 当期純利益			22,785		22,785
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		31			31
自己株式の取得				△84	△84
自己株式の処分		△0		0	0
土地再評価差額金の取 崩			20		20
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	31	12,020	△83	11,968
当期末残高	36,998	49,397	168,878	△7,677	247,596

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価証 券 評価差額金	繰延ヘッジ損 益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係 る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	10,691	△551	10,259	△876	△4,429	15,092	3,294	254,014
当期変動額								
剰余金の配当						-		△10,785
親会社株主に帰属する 当期純利益						-		22,785
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						-		31
自己株式の取得						-		△84
自己株式の処分						-		0
土地再評価差額金の取 崩						-		20
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	5,452	109	△14	△2,127	1,339	4,759	△705	4,053
当期変動額合計	5,452	109	△14	△2,127	1,339	4,759	△705	16,022
当期末残高	16,143	△442	10,245	△3,004	△3,090	19,852	2,588	270,036

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	29,011	29,052
減価償却費	21,972	22,418
のれん償却額	510	493
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△130	△271
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△570	△51
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△218	△96
受取利息及び受取配当金	△1,552	△1,405
支払利息	866	821
持分法による投資損益 (△は益)	△1,170	△933
投資有価証券売却損益 (△は益)	△280	△158
固定資産除売却損益 (△は益)	202	1,030
事業整理損	940	—
訴訟関連損失	—	2,997
売上債権の増減額 (△は増加)	9,769	△7,526
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,513	3,480
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,609	△1,773
その他	763	△595
小計	45,991	47,480
利息及び配当金の受取額	2,627	1,668
利息の支払額	△851	△816
訴訟関連損失の支払額	—	△2,530
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,812	△5,192
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,954	40,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,062	△36,828
有形固定資産の売却による収入	25	46
無形固定資産の取得による支出	△777	△666
投資有価証券の取得による支出	△2,738	△73
投資有価証券の売却による収入	342	593
子会社株式の取得による支出	△31	—
その他	△61	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,303	△36,976
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	16,007	△10,602
長期借入れによる収入	1,439	25,030
長期借入金の返済による支出	△5,063	△10,010
連結財務諸表提出会社による配当金の支払額	△10,396	△10,785
社債の発行による収入	15,000	—
社債の償還による支出	△5,000	—
非支配株主への配当金の支払額	△74	△25
自己株式の取得による支出	△2,108	△84
その他	△259	△228
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,544	△6,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	△123	△188
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,071	△3,261
現金及び現金同等物の期首残高	13,889	29,170
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	209	—
現金及び現金同等物の期末残高	29,170	25,909

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、市場に密着した製品展開を図るべく、分野別に5つの部門をおき、国内および海外の事業戦略等を立案し事業展開を行っており、経済的特徴や製品の性質・サービスの内容等が概ね類似しているものを集約した「エラストマー・機能樹脂」、「インフラ・ソーシャルソリューション」、「電子・先端プロダクツ」、「生活・環境プロダクツ」および「ライフイノベーション」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要製品は、次のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
エラストマー・機能樹脂	クロロプレンゴム、スチレンモノマー、ポリスチレン樹脂、ABS樹脂、クリアレン、耐熱・透明樹脂、ポパール ほか
インフラ・ソーシャルソリューション	セメント、特殊混和材、肥料、カーバイド、耐火物、環境資材 ほか
電子・先端プロダクツ	溶融シリカ、ファインセラミックス、アセチレンブラック、電子回路基板、電子包装材料 ほか
生活・環境プロダクツ	食品包装材料、住設資材、産業資材 ほか
ライフイノベーション	ワクチン、関節機能改善剤、診断薬 ほか

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	エラストマー・ 機能樹脂	インフ ラ・ソー シャルソ リユーシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・ 環境プロ ダクツ	ライフイ ノベーション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	149,325	54,802	68,028	36,973	35,510	344,639	36,163	380,803	—	380,803
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	196	46	—	—	—	243	6,871	7,114	(7,114)	—
計	149,521	54,848	68,028	36,973	35,510	344,883	43,034	387,917	(7,114)	380,803
セグメント利益	10,903	259	12,423	109	6,964	30,659	1,033	31,693	(105)	31,587
セグメント資産	140,727	89,231	96,675	42,127	49,117	417,879	32,307	450,186	51,261	501,448
その他の項目										
減価償却費	5,342	6,436	5,653	2,455	1,794	21,682	326	22,008	(36)	21,972
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	7,257	8,444	8,697	2,045	7,561	34,006	290	34,296	(91)	34,205

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント資産の調整額は、セグメント間消去の額および全社資産の額であり、全社資産の主なものは親会社の金融資産(現金および預金、投資有価証券)および管理部門に係る資産の額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	エラストマー・ 機能樹脂	インフ ラ・ソー シャルソ リユーシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・ 環境プロ ダクツ	ライフイ ノベーション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	124,301	50,547	71,195	33,441	42,947	322,432	31,958	354,391	—	354,391
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	143	24	—	188	—	356	5,579	5,936	(5,936)	—
計	124,445	50,572	71,195	33,629	42,947	322,789	37,538	360,327	(5,936)	354,391
セグメント利益 又は損失(△)	4,424	△540	14,006	1,164	14,836	33,892	718	34,611	118	34,729
セグメント資産	144,301	96,779	109,369	40,222	54,837	445,510	31,835	477,345	48,689	526,035
その他の項目										
減価償却費	5,428	6,735	5,565	2,239	2,168	22,138	313	22,452	(33)	22,418
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	9,716	11,452	12,671	1,877	6,459	42,178	194	42,372	(48)	42,323

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント資産の調整額は、セグメント間消去の額および全社資産の額であり、全社資産の主なものは親会社の金融資産(現金および預金、投資有価証券)および管理部門に係る資産の額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	224,484	105,895	50,423	156,318	380,803
連結売上高に占める割合(%)	59.0	27.8	13.2	41.0	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
有形固定資産	203,880	19,356	8,579	27,935	231,815

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%を超える特定の外部顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	213,529	95,325	45,536	140,861	354,391
連結売上高に占める割合(%)	60.3	26.9	12.8	39.7	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
有形固定資産	219,019	20,058	8,756	28,815	247,834

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%を超える特定の外部顧客がないため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 事業	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・ソー シャルソ リユーシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	ライフ イノーベ ーション	計				
当期償却額	66	30	—	—	414	510	—	510	—	510
当期末残高	1,056	159	—	—	6,329	7,544	—	7,544	—	7,544

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 事業	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・ソー シャルソ リユーシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	ライフ イノーベ ーション	計				
当期償却額	65	29	—	—	399	493	—	493	—	493
当期末残高	934	124	—	—	6,143	7,203	—	7,203	—	7,203

d. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	2,906円95銭	1株当たり純資産額	3,101円92銭
1株当たり当期純利益	262円62銭	1株当たり当期純利益	264円24銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上、株式給付信託が所有する当社株式を、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。

また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	22,703	22,785
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	22,703	22,785
期中平均株式数(株)	86,448,676	86,230,344

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足資料

2020年度 決算概要

2021年5月12日
デンカ株式会社

1. 業績

(単位:億円)

	2019年度 通期実績 (4-3月)	2020年度 通期実績 (4-3月)	増 減	2021年度 第2四半期予想 (4-9月)	2021年度 通期予想 (4-3月)
売上高	3,808	3,544	△ 264	1,750	3,650
営業利益	316	347	31	190	420
経常利益	300	321	21	170	390
親会社株主に帰属する当期純利益	227	228	1	130	290

2. 総括(前年同期比)

- 当社グループは、企業理念“The Denka Value”を実現すべく、3つの成長ビジョン「スペシャリティの融合体」「持続的成長」「健全な成長」を掲げ、2018年度より5か年の経営計画「Denka Value-Up」における2つの成長戦略「事業ポートフォリオの変革」と「革新的プロセスの導入」を推進し、業容の拡大と収益性向上に注力しております。
- この結果、当期の業績は、電子・先端プロダクツ製品の伸長やヘルスケア分野での新製品の寄与がありましたが、全体的には世界的な景気後退による需要減のため販売数量が減少しました。また、一部の製品では原材料価格の下落に応じた販売価格の見直しがあり、売上高は264億円減収の3,544億円(前年同期比6.9%減)となりました。

利益面では、新型コロナウイルス抗原迅速診断キットの出荷が大きく貢献したことに加え、xEV・半導体関連製品をはじめとする環境・エネルギー分野の需要伸長や固定費の削減などにより、営業利益は前年に比べて31億円増益の347億円(同9.9%増)となり、過去最高益を更新しました。経常利益は321億円(同7.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益228億円(同0.4%増)とそれぞれ増益となりました。

3. 2021年度予想

- 2021年度は、前年に新型コロナウイルスによる影響を大きく受けたクロロブレンゴムをはじめとする基盤事業の需要回復や、xEV・半導体・5G通信・再生可能エネルギーなどの環境・エネルギー分野の更なる需要伸長を想定しています。これらのことから、営業利益は前年度の347億円を大きく上回る420億円と、2期連続の過去最高益更新を見込みます。また、経常利益390億円、親会社株主に帰属する当期純利益290億円とし、いずれも過去最高益更新を見込みます。

4. 参考数値・前提

	2019年度 通期実績	2020年度 通期実績	増 減	2021年度 第2四半期予想	2021年度 通期予想
投資	369	423	54	220	430
減価償却費	225	229	4	115	235
研究開発費	150	147	△ 3	80	160
有利子負債残高	1,343	1,382	39	1,380	1,370

	2019年度 通期実績	2020年度 通期実績	2021年度 第2四半期予想	2021年度 通期予想
為替レート[円/\$]	109.1	105.8	108.0	108.0
国産ナフサ[円/k1]	42,650	31,800	46,000	46,000

5. セグメント別状況(前年同期比)

- ・ エラストマー・機能樹脂部門は、クロロブレンゴムの需要が新型コロナウイルスの影響により大幅に落ち込んだため、減益となりました。しかしながら期後半からは、需要の回復傾向が継続しております。また、TV やモニターの導光板用途の MS 樹脂は好調な出荷が続いております。
- ・ インフラ・ソーシャルソリューション部門は、改定した価格の維持が寄与しましたが、セメントや特殊混和材、肥料、耐火物・鉄鋼用材料の販売が、感染症に加え天候不順の影響を受けたことから、前年を下回ったことなどにより、減益となりました。
- ・ 電子・先端プロダクツ部門は、5G 関連やデータセンターの世界的な需要拡大で堅調な電子部品・半導体搬送用部材の高機能フィルムや半導体封止材向け溶融シリカファイバー、また xEV 関連の球状アルミナ、高純度導電性カーボンブラックの販売が前年を上回り、増益となりました。
- ・ 生活・環境プロダクツ部門は、感染症の影響を受けたプラスチック雨どいおよび合繊かつら用原糸“トヨカロン”、工業用テープの需要が回復基調にあるものの、販売数量は前年を下回りました。一方、テイクアウト需要の増加により、食品包材用シートおよびその加工品の販売は概ね堅調に推移し、原材料価格の下落や固定費削減が寄与したことなどにより、前年比増益となりました。
- ・ ライフイノベーション部門は、インフルエンザ診断キットの出荷が前年を下回りました。一方、インフルエンザワクチンは、早くから専門家や行政から予防接種が推奨されていたこともあり、昨年を上回る出荷となりました。加えて、8月に新型コロナウイルス抗原迅速診断キット“クイックナビ™ -COVID19 Ag”の販売を開始し、営業利益は、前年比大幅な増益となりました。

連結売上高・営業利益(実績・予想)		2019年度 通期実績	2020年度 通期実績	増 減
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	1,493	1,243	△ 250
	営業利益	109	44	△ 65
インフラ・ソーシャル ソリューション	売上高	548	505	△ 43
	営業利益	3	△ 5	△ 8
電子・先端 プロダクツ	売上高	680	712	32
	営業利益	124	140	16
生活・環境 プロダクツ	売上高	370	334	△ 35
	営業利益	1	12	11
ライフ イノベーション	売上高	355	429	74
	営業利益	70	148	79
その他・ 消去差	売上高	362	320	△ 42
	営業利益	9	8	△ 1
合計	売上高	3,808	3,544	△ 264
	営業利益	316	347	31

	売 上 高				
	2019年度 通期実績	2020年度 通期実績	増 減	増 減	
				販売価格差	数量差
エラストマー・機 能 樹 脂	1,493	1,243	△ 250	△ 190	△ 60
インフラ・ソーシャルソリューション	548	505	△ 43	4	△ 46
電 子 ・ 先 端 プ ロ ダ ク ツ	680	712	32	△ 21	53
生 活 ・ 環 境 プ ロ ダ ク ツ	370	334	△ 35	△ 15	△ 20
ラ イ フ イ ノ ベ ー シ ョ ン	355	429	74	△ 1	75
そ の 他	362	320	△ 42	-	△ 42
合 計	3,808	3,544	△ 264	△ 224	△ 40

	営 業 利 益					
	2019年度 通期実績	2020年度 通期実績	増 減	増 減		
				販売価格差	数量差	コスト差
エラストマー・機 能 樹 脂	109	44	△ 65	△ 190	△ 32	158
インフラ・ソーシャルソリューション	3	△ 5	△ 8	4	△ 13	2
電 子 ・ 先 端 プ ロ ダ ク ツ	124	140	16	△ 21	35	2
生 活 ・ 環 境 プ ロ ダ ク ツ	1	12	11	△ 15	△ 9	35
ラ イ フ イ ノ ベ ー シ ョ ン	70	148	79	△ 1	86	△ 6
そ の 他 ・ 消 去 差	9	8	△ 1	-	△ 1	0
合 計	316	347	31	△ 224	65	190

6. 報告セグメント区分の変更

・2021年4月1日付で、従来の5事業部門体制を4事業部門体制に組織改定したことに伴い、2021年度より報告セグメントの区分を以下の通り、変更しております。

旧セグメント	新セグメント	主要製品
エラストマー・機能樹脂	電子・先端プロダクツ	熔融シリカ、ファインセラミックス、アセチレンブラック、電子回路基板、電子包装材料 ほか
インフラ・ソーシャルソリューション		
電子・先端プロダクツ	ライフイノベーション	ワクチン、関節機能改善剤、診断薬 ほか
生活・環境プロダクツ	エラストマー・インフラソリューション	クロロプレンゴム、セメント、特殊混和材、肥料、カーバイド、耐火物、環境資材 ほか
ライフイノベーション	ポリマーソリューション	スチレンモノマー、ポリスチレン樹脂、ABS樹脂、クリアレン、耐熱・透明樹脂、ポパール、食品包装材料、住設資材、産業資材 ほか
その他	その他	商社、エンジニアリング

なお、変更後のセグメントにおける2021年度の売上高、営業利益に関する情報は以下の通りです。

連結売上高・営業利益(実績・予想)		2020年度 通期実績	2021年度 通期予想	増 減	2021年度 第2四半期予想
電子・先端プロダクツ	売上高	777	850	73	420
	営業利益	142	170	28	80
ライフイノベーション	売上高	429	400	△ 29	180
	営業利益	148	105	△ 43	50
エラストマー・インフラソリューション	売上高	918	1,050	131	500
	営業利益	△ 36	40	76	10
ポリマーソリューション	売上高	1,099	1,250	151	600
	営業利益	84	95	11	45
その他・消去差	売上高	320	100	(※)△ 220	50
	営業利益	8	10	2	5
合計	売上高	3,544	3,650	106	1,750
	営業利益	347	420	73	190

(※)グループ商社に収益認識に関する会計基準を適用した影響を含む